

1	事業名称	幼稚園等新規採用教員研修			
2	新規・継続	継続	7年目		
3	趣 旨	幼児期に必要な自然体験活動や集団活動の基本的な知識を学び、自主性や創造性など幼児教育指導者としての資質の向上を図る。			
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日
		1回	8月4日	～	8月5日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	(長野県私立幼稚園新規採用者全員)			
7	共催・協力・後援	共催：長野県私立幼稚園協会			
8	参加者人数	44人			
9	参加者類型	長野県内幼稚園等新規採用教員38人 県私学・高等教育課2人 私立幼稚園協会4人			
10	参加者地域	長野県44人			
11	参加者分析	長野県内幼稚園等新規採用教員38人			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		86%	14%	0%	0%
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・「冒険の森の運動遊び」は、理論と実際について学ぶことができ、子供の身体力を養う指導のポイントについて指導していただいた。幼稚園で子供達に運動遊びを伝えていきたい。 ・子供と一緒にだったという想定で、自然体験をするときの安全管理について考えながら取り組むことができた。 ・研修を通して人と関わることの大切さ、素晴らしさ、学ぶことがたくさんあることをあらためて感じる事ができた。 ・県内各地から幼稚園教諭が集まり、悩みや課題などをお互いに話し合い、共有することができた。 			
14	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・講義や実習を通して、幼児・児童期に必要な自然体験活動および安全管理について、学んでもらうことができ、新任者にふさわしい研修となった。 ・「冒険の森の運動遊び」では、子どもたちに必要な運動遊びの理論と実践について学ぶ機会を提供することができた。 ・「野外炊飯」では、単に分担して食事を作るのではなく、安全管理を想定した指導者目線と幼児目線の両方から現場を眺めることを設定することができた。 			
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度から1泊2日の事業となり、当所の担当する講義や実習も時間は限定されている。それだけに短時間であっても参加者が学びとして持ち帰ることが一つでも多くあるように工夫のある指導をしていくことが必要となっている。研修の質の向上に資するため、主催者との打ち合わせを密にし、当所のプログラムの質的向上につとめていきたい。 ・本事業を通して、参加者同士の情報交換を図る場となっているが、保育士同士のネットワークの構築の他に、研修後の幼稚園・保育園と当所との連携に繋げていくことも望まれる。 			
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験活動プログラムは、「冒険の森で動物になって遊ぼう」について講義と実技の両方を設定し、①冒険の森遊びの理論的な裏付け ②受講者が実際に行う体験活動 ③子どもへの支援の仕方や声かけなどについて体験的に学べるようにした。 ・野外炊飯の実習では、安全管理をメインテーマに据えて活動をしくんだ。今後とも、価値ある自然体験活動を提供するようにつとめていく。 			

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	備考（講師等）
17		
1日目		
11:50～13:10	開講式・オリエンテーション・昼食	県私学・高等教育課 私立幼稚園協会 国立信州高遠青少年自然の家職員
13:20～14:50	講義「道德教育」	県私学・高等教育課 指導主事 黒沢 幸喜氏
15:30～18:30	野外炊飯活動	国立信州高遠青少年自然の家職員
19:00～	班長会	県私学・高等教育課 私立幼稚園協会
19:10～20:20	意見交換会	県私学・高等教育課 私立幼稚園協会
20:30～21:30	入浴	
2日目		
9:00～12:00	幼児が楽しめる自然体験活動・運動遊び 講義「プレイホール」・実技「冒険の森」	信州大学付属長野小学校 教諭 関 浩司氏 国立信州高遠青少年自然の家職員
12:00～12:40	昼食	
12:50～14:00	幼児理解 「千曲」	私立幼稚園協会副理事長 大森けい子
14:10～14:50	退所式	県私学・高等教育課 私立幼稚園協会



講義①「幼児が楽しめる自然体験活動・運動遊び」



プレイホールで動物になって遊ぼう



駆け足でまわってみよう



おいしくなーれ！



協力してカレーを作ります。



はじめちよろちよろ



講義「道德教育」

担当 清水 潤